

資料1 これまでの取組み

(1) 経過

東山動植物園再生プラン新基本計画の策定にあたってこれまでの取組み状況についてご紹介します。

年度	取組みの内容
平成17年度	8月11日 第1回東山動植物園再生検討委員会 10月11日 第2回東山動植物園再生検討委員会 12月13日 第3回東山動植物園再生検討委員会 3月20日 第4回東山動植物園再生検討委員会（提言書を受理）
平成18年度	4月13日～5月12日 パブリックコメント実施 ☆6月 東山動植物園再生プラン基本構想策定 11月20日 第5回東山動植物園再生検討委員会 2月7日 第6回東山動植物園再生検討委員会 3月1日～3月31日 パブリックコメント実施
平成19年度	☆6月 東山動植物園再生プラン基本計画策定
平成20年度	11月 チンパンジー舎改修（チンパンジータワー完成） 3月 桜の回廊オープニングセレモニー開催
平成21年度	9月27日 第1回東山再生フォーラム 10月2日 第1回東山再生プラン「楽しみと賑わいの創出」ワーキング 10月17日 第2回東山再生フォーラム 11月2日 第2回東山再生プラン「楽しみと賑わいの創出」ワーキング 11月23日 第1回東山再生子ども委員会 12月14日 第3回東山再生プラン「楽しみと賑わいの創出」ワーキング 1月16日 第3回東山再生フォーラム （ワーキングと子ども委員会の合同会議） 1月16日～2月21日 パブリックコメント実施 2月19日 第5回東山再生プラン「楽しみと賑わいの創出」ワーキング 3月27日 第3回東山再生子ども委員会

(2) 東山動植物園再生検討委員会
検討委員会名簿

氏名 (敬称略、五十音順)	
ありが たかし 有賀 隆	名古屋大学大学院環境学研究科助教授
いわつき くにお 岩槻 邦男	兵庫県立人と自然の博物館館長、東京大学名誉教授
えだひろ じゅんこ 枝廣 淳子	環境ジャーナリスト、(有)イーズ取締役、 (有)チェンジ・エージェント代表取締役、 ジャパン・フォー・サステナビリティ共同代表
ジョン・ギヤスライト	エコロジー空間プロデューサー、 ツリーライミング®ジャパン代表
すだ ひろし 須田 寛	東海旅客鉄道㈱相談役
たきかわ まさこ 滝川 正子	協働組織「なごや東山の森づくりの会」代表
たけした けいこ 竹下 景子	俳優
なかがわ しろう ◎中川 志郎	(財)日本動物愛護協会理事長、(財)日本博物館協会会長、 茨城県自然博物館名誉館長、元上野動物園園長
ふじさわ くみ 藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク副代表
まき しんいちろう 牧 慎一郎	NPO法人市民ZOOネットワーク代表理事
ますい みつこ 増井 光子	よこはま動物園園長、兵庫県立コウノトリの郷公園園長、 麻布大学客員教授
まつざわ てつろう 松沢 哲郎	京都大学霊長類研究所教授
やぎゅう ひろし 柳生 博	俳優、日本野鳥の会会長

◎座長

●第1回

- 1 日時：平成17年8月11日(木) 午後3時00分から5時00分
- 2 場所：ウェスティンナゴヤキャッスル2階 青雲の間
- 3 議題：(1)再生プランの進め方について
(2)再生プランに盛り込むべき内容について
(3)再生後のマネジメントについて
- 4 出席者：座長始め11名

●第2回

- 1 日時：平成17年10月11日（火） 午後2時00分から5時00分
- 2 場所：名古屋市公館 4階 大会議室
- 3 議題：(1)基本構想の基本的な考え方に対する意見
(2)基本理念、使命等の候補としてあげられたもの
(3)構想を具体化する方策について
- 4 出席者：座長始め12名

●第3回

- 1 日時：平成17年12月13日（火） 午後2時00分から5時00分
- 2 場所：名古屋都市センター11階 大研修室
- 3 議題：(1)提言の素案全般について
(2)再生プランのスキームについて
(3)基本理念、再生の基本方針、目標について
- 4 出席者：座長始め8名

●第4回

- 1 日時：平成18年3月20日（月） 午後3時00分から5時00分
- 2 場所：徳川園 B1F ガーデンホール
- 3 議題：(1)基本構想提言書案について
(2)基本構想の具体化に向けて
- 4 出席者：座長始め9名

●第5回

- 1 日時：平成18年11月20日（月） 午後2時00分から午後3時45分
- 2 場所：名古屋市公館レセプションホール
- 3 議題：東山動植物園再生プラン基本計画の検討状況について
- 4 出席者：座長始め8名

●第6回

- 1 日時：平成19年2月7日（水） 午後2時00分から午後4時50分
- 2 場所：名古屋市公館レセプションホール
- 3 議題：東山動植物園再生プラン基本計画（案）について
- 4 出席者：座長始め9名



(3) 東山再生プラン「楽しみと賑わいの創出」ワーキング

ワーキング名簿

氏名（敬称略）	
たけだ くにひこ ◎武田 邦彦	中部大学教授
いとお あゆみ 飯尾 歩	中日新聞社論説委員
いざわ ともかず 井澤 知且	(株)都市研究所スぺーシア代表取締役
えぐち このみ 江口 このみ	NPO法人わが家流子育て応援団ふりあん理事長
かみや としゆき 神谷 敏幸	(有)オフィスビッグバン代表取締役
しんかい ようこ 新海 洋子	NPO法人ボランティアネイバーズ、環境省中部環境パートナーシップオフィスチーフプロデューサー
さとう まさゆき 佐藤 正幸	名古屋市緑政土木局参事(東山再生に係る総合調整)
こばやし ひろし 小林 弘志	東山動物園園長
ふなはし かずとき 舟橋 和時	東山植物園園長

◎座長

●第1回

- 1 日時：平成21年10月2日(金) 午後2時30分から4時30分
- 2 場所：名古屋市公館4階大会議室
- 3 議題：(1)これまでの取り組み経緯とその概要
(2)見直し計画策定に向けた現状と今後の進め方
(3)委員各々の動物園、植物園に対する思い
(4)楽しみと賑わいの創出についての問題提起及び意見交換
- 4 出席者：座長始め9名

●第2回

- 1 日時：平成21年11月2日(月) 午後2時30分から4時30分
- 2 場所：名古屋市本庁舎5階正庁
- 3 議題：(1)再生プランのコンセプト
(2)課題に対する具体的な解決方法及びアイデア
- 4 出席者：座長始め8名

●第3回

- 1 日時：平成21年12月14日(月) 午後3時00分から5時00分
- 2 場所：名古屋市本庁舎5階正庁
- 3 議題：(1)動物園の役割
(2)東山再生子ども委員会を受けて
(3)第2回ワーキングの5つの課題
(4)今までの議論のとりまとめ
- 4 出席者：座長始め9名

●第4回

第3回東山再生フォーラムと同時開催（東山再生フォーラムを参照）

●第5回

- 1 日時：平成22年2月19日(金) 午後3時00分から5時00分
- 2 場所：名古屋市本庁舎5階正庁
- 3 議題：(1)東山再生エリアの捉え方
(2)大学、企業、市民等との協働
(3)次年度以降の事業内容と進め方
- 4 出席者：座長始め9名



(4) 東山再生子ども委員会

委員会構成

		男	女	計	
小学生	4年生	4	3	7	14
	5年生	2	2	4	
	6年生	—	3	3	
中学生	1年生	1	4	5	8
	2年生	—	2	2	
	3年生	—	1	1	
高校生	1年生	—	1	1	5
	2年生	1	3	4	
計		8	19	27	

東山再生子ども委員会名簿 (敬称略・五十音順)				
石塚 彩織	上山 恭啓	大塚 日菜子	笠井 柁希	加藤 紳介
川 将大	栗山 美夢	小出 恵	榊原 慶子	佐藤 勇一郎
清水 玲那	鈴木 望世	高橋 奈那	田中 日奈子	丹 聡子
富田 恵理子	中嶋 若巴	長縄 真知子	南部 太基	林 かやの
藤森 智世	船橋 靖明	船橋 靖直	牧野 このみ	村瀬 由佳
吉川 紀愛	渡辺 恭子			

●第1回

- 1 日時：平成21年11月23日(月・祝) 午前10時30分から午後0時30分
- 2 場所：東山動植物園・動物会館(参加者 約120名)
- 3 議題：「どのような動植物園になってほしいか」
- 4 出席者：27名



●第2回

- 第3回東山再生フォーラムと同時開催(東山再生フォーラムを参照)

●第3回

- 1 日時：平成22年3月27日（金）午後2時00分から午後4時00分
- 2 場所：東山動植物園・動物会館（参加者 約90名）
- 3 議題：「これからの進め方について」
- 4 出席者：26名



(5) 東山再生フォーラム

●第1回

- 1 日時：平成21年9月27日（日）午後1時00分から午後4時00分
- 2 場所：東山動植物園・動物会館（参加者 約180名）
- 3 テーマ：人と自然をつなぐ懸け橋へ
- 4 基調講演：演題『COP10を迎えるにあたって』
講師 涌井 史郎（桐蔭横浜大学特任教授）
- 5 パネルディスカッション：演題『森と緑に包まれて』
飯尾 歩（中日新聞社論説委員）
國村恵子（名古屋市水辺研究会代表）
新海洋子（NPO法人ボランティアネイバーズ
環境省中部環境パートナーシップオフィスチーフプロデューサー）
涌井史郎（桐蔭横浜大学特任教授）



●第2回

- 1 日時：平成21年10月17日（土）午後1時00分から午後4時00分
- 2 場所：東山動植物園・動物会館（参加者 約120名）
- 3 テーマ：交流と賑わいの創出
- 4 基調講演：演題『2010年・上海万博への誘い』
講師 牧村 真史（イベントプロデューサー）
- 5 パネルディスカッション：演題『新たな交流と賑わいの創出に向けて』
佐藤久美（英文情報誌「アベニューズ」代表）
古見修一（空間メディアプロデューサー）
牧村真史（イベントプロデューサー）

安藤 舞（愛知淑徳大学文化創造学部 4 年）
古澤慧子（愛知淑徳大学文化創造学部 4 年）



●第 3 回

1 日時：平成 22 年 1 月 16 日（土）午後 2 時 00 分から午後 4 時 00 分

2 場所：名古屋市公館レセプションホール（参加者 約 170 名）

3 オープニングトーク：演題『動植物園の役割と東山再生のあり方』

講師 中川 志郎（(財)日本動物愛護協会理事長、元上野動物園園長、
元東山動植物園再生検討委員会座長）

4 合同会議：

コーディネーター：河村たかし名古屋市長

東山再生プラン「楽しみと賑わいの創出」ワーキング委員：8 名

東山再生子ども委員会委員：25 名

特別委員：安藤 舞（愛知淑徳大学文化創造学部 4 年）

古澤慧子（愛知淑徳大学文化創造学部 4 年）

中川 志郎（(財)日本動物愛護協会理事長、元上野動物園園長、元東山動
植物園再生検討委員会座長）



※資料 1 これまでの取組みにおける役職、学年等は開催当時のものです。

資料2 年表

明治 23 年	動物商、今泉七五郎氏が「浪越教育動物植物苑」を中区前津町に開設
明治 43 年 10 月	「浪越教育動物苑」が大須門前町へ移転する
大正 6 年 2 月	名古屋市議会において「動物園建設に関する意見書」が可決される
大正 7 年 3 月 20 日	今泉七五郎氏より動物の寄付を受ける
〃 4 月 1 日	名古屋市立鶴舞公園付属動物園が開園（観覧料大人 5 銭、小人 3 銭、面積 10,700 m ² 、収容動物 481 点）
大正 15 年 1 月 28 日	東山一帯が第 16 号公園（面積 2,673,000 m ² ）として内閣の承認を得る
昭和 3 年 9 月 15 日 ～11 月 30 日	名古屋博覧会開催。期間中、鶴舞公園付属動物園は博覧会会場の一部となる
昭和 4 年 4 月 1 日	鶴舞公園付属動物園が市立名古屋動物園と改称する
昭和 7 年 10 月 24 日	東邦瓦斯株式会社より植物園新設の基金として 25 万円の寄付を受ける
昭和 8 年 10 月 1 日 ～20 日	市立名古屋動物園で「世界動物探検博覧会」を開催
昭和 10 年 4 月 3 日	東山公園が開園（面積 808,249 m ² ）
〃 10 月 30 日	名古屋市議会において動物園移転拡張の件が可決される
昭和 11 年 7 月 3 日	東山動物園地鎮祭
昭和 12 年 1 月 24 日	鶴舞から動物の移動（ゾウ 1 頭は歩いて、猛獣はオリごと車で移動）
〃 2 月 27 日	市電が「覚王山」から「東山公園」まで延長される
〃 3 月 3 日	東山植物園開園（面積 244,000 m ² 、初代園長横山時綱、観覧料は大人 10 銭、小人 5 銭）
〃 3 月 24 日	東山動物園開園（面積 166,320 m ² 、初代園長北王英一、観覧料は大人 15 銭、小人 5 銭）
〃 3 月 30 日	ハーゲンバック動物園よりシロクマ等が来園
〃 6 月 19 日	東山動物園竣工祝賀式
〃 12 月 24 日	木下サーカスからインドゾウ 4 頭を購入
昭和 13 年	開園 1 周年を記念して古代池に恐竜の模型が設置される
昭和 17 年 3 月 15 日 ～31 日	「大東亜動物展示会」を開催
昭和 19 年 12 月 13 日	治安維持のため猛獣が射殺される
昭和 20 年 1 月 13 日	一般観覧を中止
〃 2 月 16 日	軍が使用するため、動植物園が閉園される
〃 2 月 25 日	空襲により施設の一部に被害を受ける
〃 3 月 25 日	空襲により温室に被害を受ける
昭和 21 年 3 月 17 日	動植物園再開園。インドゾウ、チンパンジー、鳥類など収容動物 26 点
昭和 22 年 4 月	平和公園の計画完成
〃 4 月 3 日 ～13 日	開園 10 周年記念「春まつり」を開催
〃 12 月	北海道から戦後初の猛獣、ヒグマの雄「タケオ」が来園
昭和 23 年 4 月 1 日	植物園に也有園完成
昭和 24 年 4 月 21 日	上野動物園長が来園し「東京の子どもにゾウを貸して」と訴える
昭和 24 年 6 月 18 日	児童がゾウを見るために「ゾウ列車」第 1 号が彦根市から来園し、その後、東京、大阪などからも来園する

- 昭和 25 年 3 月 20 日 「子どもの天国名古屋博覧会」を開催
 ～5 月 31 日
- 昭和 26 年 伊藤圭介の多数の遺品が伊藤宏氏より寄贈される
 " 3 月 29 日
 ～5 月 29 日 知多半島などで「移動動物園」を実施
 " 11 月 4 日 動物による「ニコニコサーカス」を編成
- 昭和 27 年 3 月 21 日 開園 15 周年記念「春の子ども祭り」を開催
 ～5 月 11 日
- 昭和 28 年 3 月 21 日 「お伽と科学の天国子どもフェア」を開催
 ～5 月 10 日
- 昭和 30 年 3 月 30 日 皇太子殿下（現天皇陛下）御来園
 " 6 月 17 日 飼育係の犬飼秋広氏がゾウにより殉職
- 昭和 31 年 10 月 6 日 岐阜県白川郷より合掌造りの家を移築
- 昭和 32 年 平和公園へ墓地の大部分が移転する
 " 3 月 15 日
 ～5 月 31 日 開園 20 周年記念「子どもの楽園世界探検博」を開催
- 昭和 33 年 3 月 20 日 「宇宙旅行こども博覧会」を開催
 ～5 月 31 日
- 昭和 34 年 9 月 8 日 アフリカよりゴン太始め 3 頭のゴリラが来園
- 昭和 36 年 1 月 7 日 チェリーガーデン完成
- 昭和 38 年 3 月 15 日 地下鉄が〔東山公園〕まで延長したことを記念し「マジックフェア」開催
 ～5 月 31 日 ゴン太らのゴリラショー、本格実施
 " 10 月 26 日 アジアゾウ「エルド」と「マカニー」の動物園葬
- 昭和 39 年 2 月 7 日 園内に懸垂式モノレールが開通する
- 昭和 40 年 12 月 11 日 浅井力三氏がゴリラ飼育の功により「高崎賞」を受賞
- 昭和 41 年 3 月 植物園合掌造りの家茅葺き屋根全面葺き替え
- 昭和 42 年 3 月 4 日 北園連絡橋「夢園橋」完成
 " 3 月 15 日
 ～5 月 31 日 開園 30 周年記念博覧会「キンダーフェア」を開催
 " 8 月 東山一万歩コース開かれる
- 昭和 43 年 6 月 3 日 ゴリラショー中止
 " 7 月 29 日 東山総合公園再開発計画発表
- 昭和 44 年 4 月 1 日 東山総合公園再開発事業始まる
 " 10 月 17 日 ロスアンゼルス動物園と姉妹動物園になる
- 昭和 46 年 「ニコニコサーカス」中止
- 昭和 48 年 5 月 18 日 ローランドゴリラ「ゴン太」の動物園葬
- 昭和 49 年 12 月 懸垂式モノレール廃止される
- 昭和 52 年 3 月 10 日 開園 40 周年記念「オーストラリアフェア」を開催
 ～5 月 20 日
- 昭和 55 年 10 月 10 日 植物会館オープン（伊藤圭介記念室常設展示）
- 昭和 59 年 10 月 25 日 タロンガ動物園から雄コアラ 2 頭来園、「モクモク」と「コロコロ」に命名される
- 昭和 61 年 3 月 1 日 ヒグマ「美幌」の動物園葬

	3月10日	植物園合掌造りの家茅葺き屋根全面葺き替え完了
	9月15日	コアラ出産（日本初）
昭和 62年	3月21日	開園 50 周年記念「なごやHAPPYフェア」を開催 ～5月31日
	3月	
平成 元年	5月12日	平和公園会館完成
	7月11日	東山スカイタワー開館（市政 100 周年記念施設）
	10月28日	自然動物館開館（市政 100 周年記念施設）
平成 4年	3月20日	動植物ガイドボランティア制度発足
平成 5年	5月1日	星が丘門供用開始
	7月16日	東山公園テニスセンター完成
平成 7年	2月5日	伊藤圭介日記第 1 集発行
	3月22日	伊藤圭介遺品が名古屋市指定有形文化財に指定される
平成 8年	3月31日	伊藤圭介日記第 2 集発行
	9月30日	オーストラリアのタロンガ動物園と姉妹動物園となる
平成 9年	3月16日	子ども動物園を全面改修しオープン（開園 60 周年記念施設）
	3月20日	開園 60 周年記念「生き生きフェスタ東山 '97」を開催 ～6月1日
	3月31日	
平成 10年	3月31日	伊藤圭介日記第 4 集発行
	4月1日	東山動植物園・スカイタワー共通観覧券の発売開始
平成 11年	3月31日	伊藤圭介日記第 5 集発行
	7月25日	「ゾウ列車が走って 50 周年」記念モニュメントの寄贈を受ける
	11月20日	東山スカイタワー入館者数 500 万人達成
平成 12年	3月31日	伊藤圭介日記第 6 集発行
	4月28日	キンシコウ 3 頭（雄 1 頭、雌 2 頭）が中国から来園（5月17日公開）
平成 13年	1月16日	伊藤圭介没後 100 年を記念して伊藤圭介の遺品が伊藤宏氏から寄贈される
	3月31日	伊藤圭介日記第 7 集発行
	9月15日	伊藤圭介没後 100 周年記念会開催、伊藤圭介日記第 8 集発行
	11月25日	カバの「重吉、福子」の襲名披露及び結婚式が開催され、大須から嫁入り道具のパレードを行う
平成 14年	3月16日	高円宮殿下・妃殿下、東山植物園ご見学
	3月23日	「東山動植物園の銘木」選定（動物園 9 箇所、植物園 11 箇所）
	4月17日	伊藤宏氏寄贈の伊藤圭介遺品が名古屋市指定有形文化財に追加指定される
	11月10日	伊藤圭介日記第 9 集発行
平成 15年	3月28日	平和公園周辺に「平和公園一万歩コース」を整備する
	10月11日	世界のメダカ館開館 10 周年記念特別展の開催 ～11月9日
平成 16年	4月17日	
	10月19日	コアラ来園 20 周年記念イベントの開催 ～11月3日
	11月7日	
平成 17年	8月11日	第 1 回「東山動植物園再生検討委員会」開催（有識者 13 名）

- 〃 10月11日 第2回「東山動植物園再生検討委員会」開催
- 〃 11月6日 伊藤圭介日記第11集発行
- 〃 12月13日 第3回「東山動植物園再生検討委員会」開催
- 〃 12月18日 日本植物園協会・生物多様性保全拠点園に参加。B G C I（国際植物園保全連合）の植物園の保全活動に対する国際アジェンダに登録
- 平成18年3月20日 第4回「東山動植物園再生検討委員会」開催。再生プラン基本構想の提言を受ける
- 〃 3月31日 「植物園の保全活動に対する国際アジェンダ」植物園自然保護国際機構へ登録
- 〃 4月1日 東山スカイタワー及び東山公園テニスセンターに指定管理者制度導入
- 〃 6月12日 「東山動植物園再生プラン基本構想」策定
- 〃 11月19日 伊藤圭介日記第12集発行
- 〃 11月20日 第5回「東山動植物園再生検討委員会」開催
- 〃 12月19日 植物園温室前館が国の重要文化財に指定される
- 平成19年2月7日 第6回「東山動植物園再生検討委員会」開催
- 〃 3月17日 開園70周年記念事業「体感王国ひがしやま」を開催
- 〃 6月13日 「東山動植物園再生プラン基本計画」策定
- 〃 8月10日 東山動物園「ナイトZOO」を開催
- 〃 11月18日 伊藤圭介日記第13集発行、記念講演会を開催
- 平成20年1月15日 伊藤圭介の遺品が伊藤俊夫氏より寄贈される
- 〃 1月26日 日本植物園協会と共催で第2回植物園シンポジウムを開催（名古屋市教育館）
- 〃 6月18日 京都大学との連携調印式
- 〃 11月9日 チンパンジー舎改修（チンパンジータワー完成式典）
- 〃 11月16日 伊藤圭介日記第14集発行、記念講演会を開催
- 平成21年1月2日 チンパンジー舎横施設（パンラボ）でのチンパンジーの知能展示開始
- 〃 3月20日 桜の回廊オープニングセレモニー（桜の市民植樹、桜の回廊撮影会を併催）
- 〃 4月18日 地域の自然学習林 完成記念式典の開催
- 〃 6月27日 開園以来の累計入園者数が1億5000万人達成
- 〃 9月27日 第1回「東山再生フォーラム」開催
- 〃 10月2日 第1回「東山再生プラン『楽しみと賑わいの創出』ワーキング」開催
- 〃 10月17日 第2回「東山再生フォーラム」開催
- 〃 10月25日 金絲猴日中共同研究閉幕式「キンシコウ10年間ありがとう」開催
- 〃 11月2日 第2回「東山再生プラン楽しみと『賑わいの創出』ワーキング」開催
- 〃 11月23日 第1回「東山再生子ども委員会」開催
- 〃 12月14日 第3回「東山再生プラン『楽しみと賑わいの創出』ワーキング」開催
- 平成22年1月14日 第1回「重要文化財東山植物園温室前館の保存および活用に関する検討委員会」開催
- 〃 1月16日 第3回「東山再生フォーラム」開催（第4回東山再生プラン「楽しみと賑わいの創出」ワーキング、第2回「東山再生子ども委員会」と合同開催）
- 〃 2月19日 第5回「東山再生プラン『楽しみと賑わいの創出』ワーキング」開催
- 〃 3月24日 第2回「重要文化財東山植物園温室前館の保存および活用に関する検討委員会」開催
- 〃 3月27日 第3回「東山再生子ども委員会」開催

資料3 用語解説

	用語	解説	ページ
あ	アジェンダ 21	1992年にリオデジャネイロで開催された国連環境開発会議で採択された文書のひとつで、21世紀に向けて持続可能な開発を実現するための具体的な行動計画。	24
あ	アセットマネジメント	公共施設を資産の損傷・劣化等を将来にわたり把握することにより、最も費用対効果の高い維持管理を行う概念。	45
い	伊藤圭介	名古屋呉服町に生まれ、我が国第1号の理学博士となった。江戸末期から明治時代の医学、植物学・博物学界を代表する人物として、多数の業績を残している。「めしべ」「おしべ」「花粉」と言う言葉を作り、名古屋大学医学部の前身となる医学校も創設。98歳で没。享和3年(1803年)～明治34年(1901年)。	22
い	インタープリター	自然と人との「仲介」となって自然解説を行う人物。	23, 25
い	イングリッシュガーデン	英国式の、自然や風景をそのままいかした庭園。	38
い	1年草	春から秋の間に、種子から発芽、生長、開花、結実がみられ、年内に枯れる植物。	46
う	雨水流出抑制	雨の水が敷地外へ流れ出すことを防ぐこと。	52
え	エデュケーション	教育。	25
え	エクスカージョン	訪れた場所で案内人や専門家の解説に耳を傾けながら参加者も意見を交わし、現地での体験や議論を行い理解を深めていく体験型の見学会のこと。	59
お	尾根筋	山頂と山頂をつなぐみちすじ。	22
お	オープンカフェ	道路に面した壁を取り払って、テラスのように開放的な構造にしたカフェやレストラン。	37, 38, 43
お	屋上緑化	建物の屋上を防水し、土を入れて植物を育てること。壁面緑化と併せて、美観の向上、ヒートアイランド現象の軽減、冬季の断熱効果向上という利点がある。	52
か	カート	エンジンなど動力のついた、簡単な構造の車。	11, 40
か	環境行動	人と自然とのかかわりを理解し、自然環境の保全に向けて活動すること。	12, 44
か	ガーデニング	趣味としての園芸、庭仕事。	23, 37
か	環境保全	自然保護が人間の住環境を保全することになるという見地から、環境破壊を防止し、自然保護を図ること。	24, 45, 52
か	環境リテラシー	自然のシステムを理解し、環境問題を解決・緩和する方策を判断し、実践する能力。	24
か	ガイドボランティア	お客様にスポットガイドやツアーガイドにより動物園・植物園の見どころや施設案内を行うボランティア団体。	26, 47
か	ガイドダンス	不慣れで事情のわからない人に対して、初歩的な説明をすること。案内。手引き。また、そのための催し。	44
か	環境管理システム	組織や事業者が、その運営や経営の中で自主的に環境保全に関する取組を進めるにあたり、環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいく体制・手続き等の仕組み。	52
き	共生型社会	生物が相互に作用し合う状態で生活する社会のこと。	3
き	木曾	長野県南西部、木曾川上流一帯の称。木曾郡の地域。ヒノキなど良材の産地。	21

き	キッズサイエンス カフェ	東山動植物園で開催しているイベントのひとつで、科学について市民と名古屋市立大学の研究者が気軽に話し合う場で、講演会とは異なり、研究者が話題を提供し、皆で考えながら科学への理解を深めようというもの。	26, 28
き	幾何学式庭園	庭園内の装植物や花壇、または樹形が直線や幾何学模様を用いてつくられる庭園のこと。	37
け	形態的特徴	生物などの体を外から見たかたちやありさまの特徴のこと。	14
け	継代繁殖	生まれた子どもを育てて親にし、それから生まれた子どもを育てて親にするという繰り返して繁殖させて世代を重ねること。	31
こ	行動展示	動物の生態やそれに伴う行動能力を、誘発させて観覧者に見せるように工夫した展示のこと。	12
こ	国際アジェンダ	「アジェンダ」とは会議で議論すべき課題のリストをいうが、ここでは、植物園自然保護国際機構（BGCI）が、世界の植物園の生物多様性保全に対する役割及び保全活動についてその枠組みを定めたもので、2000年に開催された第1回世界植物園会議において立ち上げられた。	33
さ	サイン計画	人々が、目的地に安全かつ円滑に移動出来るように、その情報伝達手段となる標識や案内板などの「サイン」を体系的に整備する計画のこと。	39
し	重要文化財	文化財保護法による建造物・絵画・彫刻などの有形文化財のうち、重要なものとして文部大臣が指定したもの。「重文」と略称される。	9
し	食物連鎖	自然界における食うものと食われるものとの一連の関係。	15
し	植物多様性保全拠点園	(社)日本植物園協会の進める取り組みの一つとして、全国各地の代表的な植物園を、地域の植物保全の拠点となって活動すべき園として認定したもの。地域の気候・専門分野等の特色を生かしながら、協力して植物多様性保全を推進する。	32
し	植物多様性保全拠点園ネットワーク	(社)日本植物園協会の取り組みの一つ。植物多様性保全を効果的に行うため、全国の植物園が分担して事業を行うネットワーク。現在、26植物園が参画し、2010年までに日本産絶滅危惧植物種の約55%の保全を図ることを短期目標としている。	32
し	植物園自然保護国際機構（BGCI）	地球上の野生植物の保全をより効果的に進めるために、植物園の国際的な連携を支援することを目的として設立された国際組織（1987年設立）。本部は英国キューガーデン内。現在、120カ国以上の800を超える植物園や植物研究機関と協力。	32
し	種苗交換	種子や苗を交換することだが、ここでは、国内及び海外の植物園との間で行っている相互交換事業をいう。	33
し	事前精算システム	駐車場内や場外の精算コーナーなどで出庫前に駐車料金の精算を済ませ、出口では精算済みの駐車券を精算機または、出口読取機に入れるだけで出場することができるようにすること。出口で精算をしないため、出場時の精算による混雑・渋滞が緩和できる。	41
し	修景	自然の美しさを損なわないように風景を整備すること。	45, 46, 58
し	遮蔽	おおいをしたりして他から見えなくすること。	45
し	宿根草	生育に適さない時期（冬が多い）には地上部が枯れてしまうが、地下茎または根が残って、生育に適さない時期をすぎると発芽して、再び生育を始める多年草。	46
し	植生	ある場所に生育している植物の集団。植物群落。	46

し	浸透マス	側面や底に穴があり、溜まった雨水を地中にしみ込ませる雨水浸透枳など。	52
ず	水晶宮	1851年、ロンドンで開かれた第1回万国博覧会の会場建築。鉄骨ガラス張りで、材料・工法ともに近代建築の先駆的な作品。クリスタルパレス。	6
せ	生態系	ある地域に住むすべての生物群集とそれらの生活にかかわる無機的環境（水・空気・土・光など）とを一まとめにして、相互に関連し合う一つの体系としてとらえたもの。	12, 15, 24 45, 56
せ	生態的な展示	動物が野生で生息している環境に似せた状況を観覧者に見せるよう工夫した展示のこと。	12
せ	絶滅危惧	生物の種などが減びて絶えることのおそれ。	14
せ	生息域外保全	生物を自然の生息域外において、人間の管理下で保全すること。	19, 30, 31 33
せ	世界動物園水族館協会	49ヶ国の245の動物園・水族館、25の協会が加盟し、野生動物の保護、繁殖、動物福祉などを協力して行う団体。	24, 30, 31
せ	セルフガイドシート	案内人などによらず、自分自身で学べる詳しい説明・解説用紙。	25
せ	性ホルモン	生殖腺から分泌されるステロイドホルモン。雄性ホルモンと雌性ホルモンとがあり、生殖器の発育、性徴の発現を促す。	27, 29, 30
せ	生息域内保全	生物を自然の生息環境において維持し、回復すること。	29, 31, 33
せ	生物多様性のための自然博物館連合	生物多様性条約の効果的な実施の推進を目的とした、植物園など自然を対象とする博物館等の組織と生物多様性条約事務局との連合。種や生態系の理解を深めるための教育・訓練の実施やその検証を行う。	33
せ	専管	一手に管理すること。	51
た	第三次生物保全国家戦略	生物多様性国家戦略とは、生物多様性条約に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用に関わる国の施策の目標と取組の方向を定めたものであり、第三次戦略は平成19年11月に閣議決定されている。	33
た	多機能トイレ	車いす利用者、オストメイト（人工膀胱、人工肛門造設者）、高齢者、妊婦、乳幼児を連れた人などの使用に配慮したトイレ。	40, 44
ち	池泉回遊式	江戸時代に発達した日本庭園の様式で、池とその周囲を巡る園路を中心に作庭するもの。	22
ち	茶筌	抹茶をたてる時、かきまわして泡を立てたり、練ったりする竹製の具。	22
て	テサロニキ宣言	1997年にギリシャのテサロニキ会議で採択された29章で構成される宣言文。高められてきた教育と認識にかかわる価値や行動計画を踏まえ、教育全体を持続可能性に向けて再構築していくための諸原則を掲げた。	24
と	動線	都市や公園などにおける人や物の動きを想定して策定する経路のこと。	11, 39
と	トラム	路面電車。	11, 40
と	動物福祉	「人間のためという目標を満たすように動物が使われるのはやむを得ないが、その動物が被る痛みや苦しみは身体のみならず心理的にも最小限に抑えなければならない」という考え方のこと。	12, 27
と	東海要素植物群	伊勢湾を取り囲む周伊勢湾地域という丘陵・台地地形が形成されてきた地史的影響によって現在この地位域に集中している植物群。	21, 29, 32 33

と	トビリシ宣言	1977年に国連教育科学文化機関（UNESCO）により世界各地の環境教育専門家が参加したトビリシ会議における成果のひとつとして採択されたもの。「現在および未来の世代に対して、開発と関連させながら環境を保護、改善する。」などがまとめられている。	24
と	トップセールス	社長や都道府県知事、市町村長などが、自ら宣伝マンとなって売り込むこと。	50
と	透水性舗装	雨水が地中に浸透することのできる舗装。都市部では水の循環を促し、寒冷地では路面の凍結を防ぐ。	52
に	(社) 日本植物園協会	植物園等の施設についての調査研究、文献収集、関連の学術図書刊行、知識の交換などを通じて、植物園事業の普及発展に寄与することを目的とする団体。植物園 112 園が加入。（平成 21 年 3 月現在）	29, 32, 33
に	(社) 日本動物園水族館協会	日本国内の動物園・水族館が加盟している団体。	30
ね	ネーミングライツ	命名権。	50
は	バリアフリー	障害者や高齢者などの生活に不便な障害を取り除こうという考え方。道や床の段差をなくしたり、階段のかわりにゆるやかな坂道を作ったり、電卓や電話のボタンなどに触ればわかる印をつけたりするのがその例。	11, 34, 44, 58
は	パートナーシップ	協力関係。提携。	23, 37, 47
は	ハンズオン	体験型の学習方法のひとつで、実際に手で触れるなどの体験を通じて、より理解を深めることを目的とする。	25
は	パークアンドライド	最寄りの駅や停留所、目的地の手前まで自家用車で行って駐車し、そこから鉄道やバスに乗り継ぐ移動方式。交通渋滞対策および環境汚染対策の一環として推進されている。	41
は	バックヤード	展示物等を保管しておく倉庫などがある施設の裏側、またはそのスペースのこと。展示していない獣舎も含まれる。	46
は	パブリシティ	企業や団体が、マスコミなどに対して積極的に情報公開するなどして、報道されるよう働きかけること。	49
は	バイオマス発電	間伐材や木材の廃材・端材やサトウキビなど植物などを燃料として電気や熱を利用する発電方法のこと。	52
ひ	飛騨	現在の岐阜県北部地域。	21
ひ	ビオトープ	生物群集が存在できる環境条件を備える地域。生物群の生息場所。	23, 32, 46
ふ	フェノロジー調査	植物などの季節変化についての調査のこと。	28
ふ	フィードバック	得られた結果や経験を反映させること。	29
ふ	ブリーディングローン	繁殖を目的とした動物の貸借契約のこと。動物園間で個体を異動させることによって新たなペア形成を促し、繁殖に寄与することを目的としている。	30
ふ	フードコート	隣接するいろいろな飲食店のブース及びセルフサービス形式の食事のための共有スペースを提供する屋内型広場。	39, 43, 58
ふ	プロポーザル方式	業者などに提案を一般公募し、審査により順位を決定する競争方式のこと。	51

へ	ベオグラード憲章	1975年に国連教育科学文化機関（UNESCO）により世界各地の環境教育専門家が参加したベオグラード会議で作成された憲章。環境の状況、環境の目標、環境教育の目標、環境教育の目的、対象、環境教育プログラムの指針となる原則の6構成よりなり、環境教育のフレームワークとなっている。	24
へ	壁面緑化	建物の壁面を植物で覆うこと。	52
ほ	ホスピタリティ	おもてなしの心を持ち様々なサービスを提供すること、またはその精神。	4
ま	埋蔵文化財	土地に埋蔵されている文化財。	9
ま	万葉集	奈良時代の短歌・長歌などの歌集。大伴家持が現存の形に近いものにまとめたとされる。成立年未詳。現存する最古の歌集で、万葉仮名を多く用いている。	22
み	三河遠州	現在の愛知県東部から現在の静岡県西部の地域。	21
み	三河綿	三河地方で古くから栽培されていたワタの系統。三河地方は日本で最初にワタが伝わったと言われており、古くから三河もめんの産地として栄えてきた。	32
み	水循環システム	雨水貯留施設などの設置や下水を浄化するなどして、水を再利用する機能や施設のこと。	52
む	無柵放養方式	檻や柵などを使用しない展示で、堀を用いることで動物を遮蔽物なしで直接観賞出来るようにした展示方式のこと。ドイツのハーゲンバック動物園が始めた展示方法。	6
ゆ	ユニバーサルデザイン	年齢や身体的要件などにかかわらず、すべての人が利用し易いように配慮された普遍的な施設や製品などの設計の考え方。	11, 34, 39 44
ゆ	有袋類	有袋目の哺乳類の総称。多くは胎盤がなく、子は発育不完全な状態で生まれ、自力で母親の下腹部にある育児嚢(いくじのう)に入り、乳を飲んで育つ。大部分はオーストラリアに、一部は中南米に分布し、約270種が知られ、形態・習性は多様に分化している。カンガルー・フクロネコ・コアラなど。	18, 30
り	緑陰	青青と茂った木のかげ。こかげ。	8, 39, 45
り	立体花壇	建てられた金属のフレームなどに密に細かい花や葉を持つ植物を何種類も組み合わせることで植え込み、色の違いにより様々な風景や動物などのデザインする園芸の方法。	38
る	類人猿	霊長目ヒト科の哺乳類の総称。ヒトに最も近いサル類で、ゴリラ・チンパンジー・オランウータンなどがある。大形で発達した脳をもち、尾はなく、上半身を半ば起こして歩く。	7, 16
れ	霊長類	霊長目の哺乳類の総称。サル類で、ヒトも含まれる。手足にふつう5本の指をもち、第1指は他の4本と向かい合って物をつかむことができ、多くは平爪をもつ。足はかかとまで地面につけて歩く。目は両方が並んで前を向き、立体視ができる。樹上生活に適応して進化したとされ、脳が発達している。	16
D	DNA解析	動植物の遺伝子を解析することで、その個体の種・特徴等を調べること。	29, 30
N	NPO	民間非営利団体。社会的な問題に、非営利で取り組む民間団体。 (non-profit organization)	31, 43, 48